

都市再生整備計画（雀宮地区）事後評価の概要

（１）計画概要

【地区名】雀宮地区
 【面積】196ヘクタール
 【交付期間】平成24年度～平成28年度
 【交付対象事業費】約11億7千万円（国費率40%）
 【区域】雀宮町，雀の宮1～5丁目，新富町，五代2・3丁目，若松原1～3丁目の一部 外

（２）まちづくりの目標

【大目標】
 地域交流拠点である雀宮駅周辺地区の交通結節機能の強化と地域活動が活発な魅力あるまちを形成する。

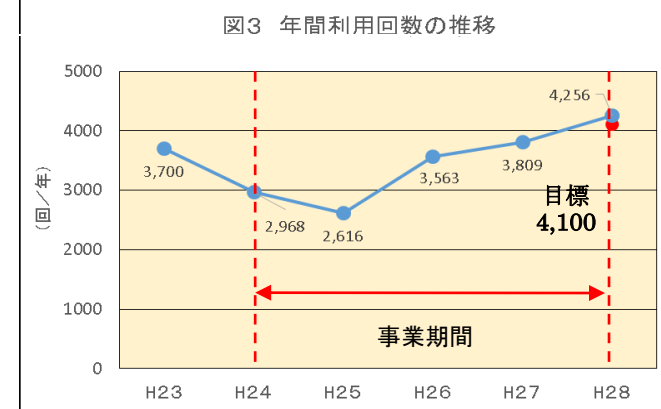
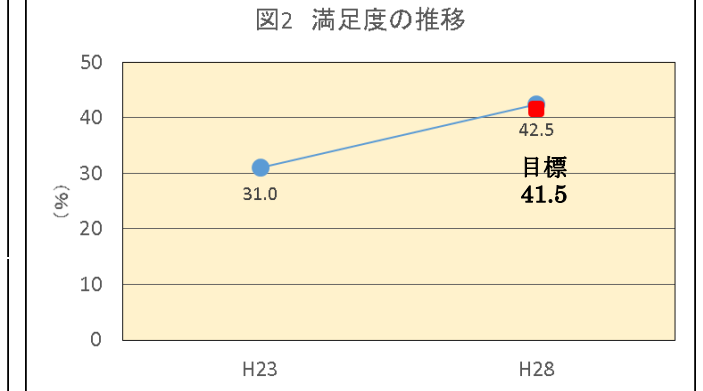
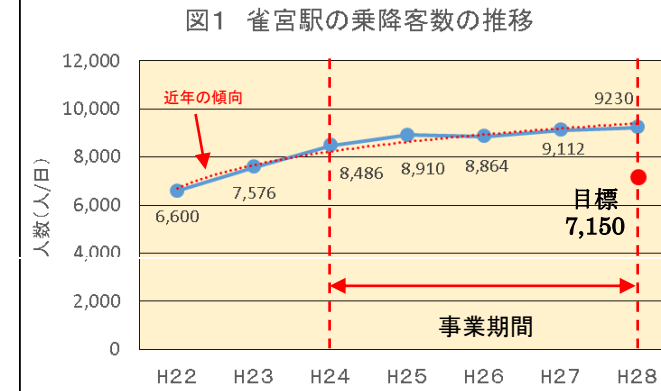
【小目標】
 目標1：JR雀宮駅周辺の基盤整備の推進により，地域の安全性・利便性を高め，交通結節機能の強化を図る。
 目標2：地区の玄関口である駅周辺において市民や来訪者の快適性を高める良好な景観形成を図る。
 目標3：地域活動の拠点施設の整備により地域を支えるまちづくり活動を促進する。

（３）目標の達成状況

指標	単位	従前値	目標値	事後評価	達成度	備考
① 雀宮駅の利用者数	人/日	6,600 (H22)	7,150 (H28)	9,230	○	駅周辺の基盤整備の推進により，交通結節機能が向上し，駅利用者数は増加した。
② まちの快適な空間に対する満足度	%	31.0 (H23)	41.5 (H28)	42.5	○	景観形成や市道713号線等の駅周辺の基盤整備の推進により，満足度は向上した。
③ 五代若松原地域コミュニティセンター等年間利用回数	回/年	3,700 (H22)	4,100 (H28)	4,256	○	まちづくり活動の拠点整備により，施設の年間利用者数は増加した。
その他		・駅周辺における高質な空間づくりと景観形成が実現されつつある ・地元住民団体主催のイベントの実施など，住民によるまちづくりが活発化している				

（４）実施過程の評価

【モニタリング】 実施なし
 【住民参加プロセス】 ・雀宮地区まちづくり推進協議会，五代若松原地区まちづくり推進協議会
 ・事業実施にあたり，地域住民組織との協議・連携を実施
 【持続的なまちづくり体制の構築】 ・まちづくり協議会等の地域団体



（５）まちの課題の変化

- 地区住民の生活や生涯学習活動を支える基盤が整備されたことにより，地域の核となる拠点が形成された。
- 新たな五代若松原地域コミュニティセンターの整備や雀宮地区市民センターのバリアフリー化等を実施したことにより，地域活動を支える拠点の利便性や安全性の向上が図られ，地域主体のまちづくり活動が着実に増加している。
- 国道4号をはじめ，県道雀宮停車場線，市道713号線などの道路整備が進捗し，雀宮駅周辺の地区における交通結節機能が着実に強化されている。

（６）今後のまちづくり方策

まちの課題	まちづくり方策
地域核拠点となる施設の一層の利用促進	施設の一層の利用促進を図るため，雀宮地区市民センター・五代若松原地域コミュニティセンターをはじめとする駅周辺の施設におけるイベントやまちづくり活動等，地域の活動の場の提供や活動の支援を持続的に実施する。
住民のまちづくり活動の支援	地域住民組織等との連携・調整を図りながら，地域が一体となったまちづくり活動に対して，事業実施に向けたサポートなどの支援を行う。
駅周辺の基盤施設の継続的な整備の実施	周辺国道・県道の整備と一体となった円滑な交通ネットワーク体系を構築に向け，市道704号線の着実な整備を進めていく。